第16号様式(第2条関係)

年　　月　　日

　郡山市保健所長

管理者　住所

氏名

診療用放射線照射装置備付届

　下記のとおり、診療用放射線照射装置を備えるので届け出ます。

記

1　病院又は診療所の名称及び所在地

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |
| 所在地 | 電話番号 |

2　診療用放射線照射装置に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 製作者名 |  |
| 型式及び個数 |  |
| 装備する放射性同位元素の種類 |  |
| 装備する放射性同位元素の数量 | ベクレル(Bq) |

3　診療用放射線照射装置を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 職種 | 放射線診療に関する経歴(免許登録番号及び登録年月日) |
|  |  |  |

4　予定使用開始時期

　　　　　　年　　月　　日

5　診療用放射線照射装置の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 放射線源収納容器の漏えい放射線量が70マイクログレイ／時(線源から1メートル) | 以下・超える | |
| 放射線発生時の自動表示装置 | 有・無 | |
| インターロック装置 | 有・無 | |
| 照射口開閉用遠隔操作装置 | 有・無 | |
| エックス線装置の併設 | 有・無 |

6　診療用放射線照射装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 建築物の構造 | | | 耐火構造・不燃材料・その他(　　　　　　　　　　　　　　) |
| 使用室の防護物の概要 | 区分 | | 構造、材料及び厚さ(センチメートル) |
| 天井 | |  |
| 床 | |  |
| 周囲の画壁等 | 東 |  |
| 西 |  |
| 南 |  |
| 北 |  |
| 出入口の扉 |  |
| その他の開口部 | 有(用途　　　　　　　　　　　　　　)・無 |
| 操作室 | | | 有・無(理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 監視用モニター等 | | | 有・無 |
| 出入口の数 | | | 通用口　　　箇所・その他(用途　　　　　　　　　　　　　) |
| 使用室の標識 | | | 有・無 |

7　貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貯蔵の方法 | | 貯蔵室・貯蔵箱・その他(　　　　　　　　　　　　　　　) | |
| 貯蔵室又は貯蔵箱等の場所 | | 別添図面のとおり | |
| 貯蔵施設の構造 | | 鉄筋コンクリート・金庫・その他(　　　　　　　　　　　) | |
| 貯蔵施設のしゃへい材料 | |  | |
| 貯蔵室の出入口の構造等 | 特定防火設備に該当する防火扉 | 有・無 | |
| 出入口の数 | 通常口　　　箇所・その他(用途　　　　　　　　　　　　) | |
| 閉鎖設備・器具 | かぎ・その他(　　　　　　　　　　　　　) | |
| 貯蔵箱等の閉鎖設備・器具 | | かぎ・その他(　　　　　　　　　　　　　) | |
| 貯蔵施設の標識 | | 有・無 | |
| 貯蔵容器の構造等 | 貯蔵容器のしゃへい材料 | |  |
| 空気汚染防止措置 | | 有・無 |
| 液体のこぼれ防止措置 | | 有・無 |
| 液体の浸透防止措置 | | 有・無 |
| 貯蔵容器の標識 | | 有・無 |
| 貯蔵物の種類及び数量の表示 | | 有・無 |
| 受皿、吸収材等 | | | 有・無 |

8　運搬容器の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 空気汚染防止措置 | 有・無 |
| 液体のこぼれ防止措置 | 有・無 |
| 液体の浸透防止措置 | 有・無 |
| 運搬容器の標識 | 有・無 |
| 運搬物の種類及び数量の表示 | 有・無 |

9　放射線治療病室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建築物の構造 | | | 耐火構造・不燃材料・その他(　　　　　　　　　) | | | | |
| 放射線治療病室の防護物の概要 | 区分 | | 天井 | 床 | 周囲の画壁等 | | |
| 壁 | 出入口の扉 | その他の開口部 |
| しゃへい物 | 構造 |  |  |  |  |  |
| 材料 |  |  |  |  |  |
| 厚さ(センチメートル) |  |  |  |  |  |
| 汚染のおそれのある部分の構造 | 突起物・くぼみ | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 目地等のすきま | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 平滑施工表面仕上げ | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 耐浸透性材料の使用 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 耐腐食性材料の使用 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 出入口の数 | | | 通常口　　　箇所・その他(用途　　　　　　　　　) | | | | |
| 放射線治療病室の標識 | | | 有・無 | | | | |

10　診療用放射線照射装置使用室、貯蔵施設及び運搬容器並びに放射線治療病室の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | | | | 有・無 |
| 使用中の表示 | | | | 有・無 |
| 画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト／週以下となる措置 | | | | 有・無 |
| 貯蔵容器への貯蔵時又は運搬容器での運搬時の1メートルの距離における実効線量率が100マイクロシーベルト／時となる措置 | | | | 有・無 |
| 管理区域 | | 管理区域を設ける場所 | | 別添図面のとおり |
| 境界における実効線量が1.3ミリシーベルト／3月以下となる措置 | | 有・無 |
| 立入制限措置 | | 有・無 |
| 管理区域の標識 | | 有・無 |
| 敷地の境界等 | | 敷地内居住区域及び敷地の境界における実効線量が250マイクロシーベルト／3月以下となる措置 | | 有・無 |
| 入院患者の実効線量(診療により被ばくする放射線を除く。)が1.3ミリシーベルト／3月以下となる措置 | | 有・無 |
| その他 | 取扱者の被ばく測定器具 | |  | |

備考

　1　隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用放射線照射装置使用室の図面(平面図及び側面図)を添付すること。

　2　使用室、貯蔵室及び放射線治療病室の図面は、その各室ごとに照射方向、線源の中心から天井、床及び周囲の画壁等の外側までの距離(メートル)並びに防護物の材料及び厚さを記入した50分の1又は100分の1の縮図とすること。

　3　管理区域の標識等の位置を使用室の図面中に記入すること。

　4　漏えい放射線測定記録は、届出に添付不要であるが、測定記録を保管しておくこと。